

【保護者：アプリ配信】 【地域：回覧配付】



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和7年11月28日 第8号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

思いは見えないけれど 思いやりは見える

校長 森 和人

11月13日（木）に「いじめ見逃しゼロスクール集会」が実施されました。1年生から6年生までの各学級で、「いじめ行為」「いじめ見逃し」「いじめの見て見ぬふり」を起こさぬために、自分たちでできることが話し合われ、当日発表されました。その手段として、「ふわふわ言葉を使う」「自分がされたらどんな気持ちになるか考える」「勇気を出して、いじめている人にやめるように言う」「先生に伝える」「悲しい思いをしている人に声をかける」などが発表され、とても頼もしく感じました。そして、十数年前のあるフレーズを思い出しました。それは、以下の言葉です。

「こころ」は だれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど 「思いやり」は だれにでも見える
その気持ちを カタチに



このメッセージは、今から14年前に東日本大震災のあとに流れたテレビ広告です。当時、つらく悲しい思いをしている多くの人々に対して、自分たちが感じている思いをカタチで表現しようと伝えたメッセージだったととらえています。

学校生活を過ごす中で、友だちのつらそうな姿や悲しそうな姿を目にすることがあります。「〇〇さん、悲しそうだな」と思い気づく優しい気持ちをもつことは素晴らしいことです。しかし、〇〇さんには、その優しい「こころ」や「思い」は見えません。「大丈夫？」「いっしょに遊ぼう」と声をかけたり、近くに寄り添ってくれたりすることで、優しい気持ちが見えるカタチとなり、相手に伝わります。優しい気持ちをカタチにした「ふわふわ言葉」が増え、もっともっと心温かい学校になることを目指します。

【ご心配をおかけしております】

先月、佐渡島内で勤務する教諭が、わいせつ行為による非違行為で懲戒免職になった報道が発表されました。教員の信用を失墜させる事案であり、強い憤りを感じています。佐渡島内の保護者の皆様、地域の皆様にご心配をおかけしている状況にお詫びいたします。当校では非違行為根絶に向けた研修を定期的実施し、1学期に起きた他県での盗撮事案を受け、わいせつ行為の根絶についても研修をしてきました。まずは、疑われる行動もしないように自身の行動を振り返り、教員全体の信用回復に努めたいと思います。よろしくお願ひいたします。